

INFORMATION

大学教員のためのFD研修会(ワークショップ)

- ▶日時:12月8日(日) 13:00~17:45
 - ▶会場:関西大学千里山キャンパス(大阪府吹田市)
 - ▶テーマ:大学授業デザインの方法
——1コマの授業からシラバスまで
 - ▶概要:参加者それぞれが授業実践事例をもち寄り、ワークショップ形式で行う。授業のデザインに関する問題意識の明確化、授業のデザインに関する情報・課題の共有などから議論を始め、「何を誰に教えようとしているのか」、「どんな方法で教えるのか」、「続けたい点・変えたい点は何か」などをグループで議論しながら授業の改善案を考えていく。事前学習用コンテンツを用意し、e-ラーニングと対面研修の組み合わせにより行うことで、当日の活動を、参加度を高めた構成(反転研修)とする
- ※研修会終了後に最終レポートを提出し、合格した修了生には、日本教育工学会から認定書を授与
- ▶定員:30名(先着順、定員になり次第、締切)
 - ▶参加費:2000円(学会員)、3000円(学会員以外)、情報交換会3000円
 - ▶申込方法:下記ホームページの申込フォームより
<https://www.jset.gr.jp/work/work191208.html>
 - ▶問い合わせ先:千葉美保子(甲南大学)
E-mail:fd-staff@jset.gr.jp

京都橘大学 看護国際フォーラム2019

- ▶日時:12月14日(土) 13:00~16:30
- ▶会場:キャンパスプラザ京都
- ▶テーマ:ケアリングとテクノロジー
——看護の未来を考える
- ▶概要:AI・ビッグデータ・IoTなどさまざまなテクノロジーが社会の中で活用され始め、AIで仕事がなくなるのでは? という不安の声も聞かれるが、医療や看護の現場にも、さまざまなテクノロジーが使われている。ひと(看護職)がテクノロジーを使うのか? テクノロジーに使われるのか? そもそもケアリングとテクノロジーは相反するものなのか? 今回のフォーラムでは、実際に看護やケアの現場でテクノロジーを活用している方々とともに、ケアリングとテクノロジーが融和した看護の未来を考える
- ▶講師:Locsin, Rozzano De Castro (Professor of Nursing at Tokushima University, Professor Emeritus of Florida Atlantic University)、森川悦明(グッドタイムリビング代表取締役社長)
- ▶対象:看護職者、医療・福祉職、一般市民、学生
- ▶定員:250名(先着順)
- ▶参加費:1500円
- ▶申込方法:下記ホームページの申込フォームより

https://www.tachibana-u.ac.jp/research_area/extention/2019/03/2019-7.html

- ▶問い合わせ先:京都橘大学エクステンションセンター(学術振興課)
〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34
TEL:075-574-4186
FAX:075-574-4149
E-mail:aca-ext@tachibana-u.ac.jp

日本国際看護学会 2019年度西日本研修会

- ▶日時:2月15日(土) 13:00~16:30(12:30受付)
- ▶会場:兵庫大学(兵庫県加古川市)
- ▶テーマ:これからの国際看護学
——世界に普及した母子健康手帳から学ぶこと
- ▶プログラム:講演/グループディスカッション「語り合おう! これからの国際看護について」
- ▶講師:中村安秀(甲南女子大学教授)
- ▶定員:先着100名
- ▶参加費:会員3000円、非会員5000円、学生会員1000円、学生非会員2000円
- ▶申込方法:下記ホームページの申込ページより
https://www.jsin.jp/entry_learn/index.html
- ▶問い合わせ先:日本国際看護学会
<https://www.jsin.jp>